

# 岐阜県立羽島高等学校 Sクラブ

高校生ボランティア・アワード2018

## 「広がれ！あふれる笑顔」

### \* イベント・挨拶活動 \*

毎月1回学校の最寄り駅である羽島市役所前駅での挨拶活動やなまず祭り、竹鼻祭り、代々祭り、サマーフェスティバルなどの地域イベントの参加をしています。地域の方々とお話しをすると、お祭りに込められた想い、地域の歴史など、私たちが知らない多くのことを学ぶことができました。そして、地域との輪が広がり、つながりを深めることができました。

### \* 交流活動 \*

保育園での交流会では、園児の能力を引き出せ、一緒に活動ができ、安全で楽しめる内容を考えて、試作をして保育園へ訪問しました。昨年度は園児にデコレーションしてもらった紙コップでマルチけん玉を作り、交流会を行いました。目線を合わせて話す大切さを学び、忘れられないくらい素敵な園児の笑顔がたくさん見ることができました。

障がい者支援施設ではマドレーヌやUVレジンでストラップを手作りし、簡単なビンゴゲームで仲を深めました。ルールなどは大きな図を用いて説明し、わかりやすいように工夫しました。また、障がいのある方々が普段作業されている様子を見学・体験させていただきました。たびやハンガーの組み立て、紙袋作りの3つの仕事をしていると知り、私たちが体験することで仕事の大変さや楽しさ、人との接し方を学ぶことができました。

昨年度から岐阜大学のカウンセリング同好会シグマソサエティの学生さんと交流活動を行っています。自分自身の過去を振り返り、今後の人生について考えたり、交流する中で相談したりしました。少し先輩という年齢の差ですが、交流はあるようであまりなく、年齢が近いということで親近感があり、楽しく交流することができました。また、相手を思いやることも大切だが、自分自身もとても大切であることを改めて感じた交流会でした。

### \* 手話講習会 \*

毎週月曜日に講師の先生を招き、名前や住所、血液型や趣味など、日常的な手話を学んでいます。今後は学んだことを生かした交流活動を実施していきたいです。

### \* 被災地ボランティア \*

昨年度から年に1度、夏休みに被災地へ行き、ボランティア活動を始めました。第1回目の昨年度は九州北部豪雨で被災した大分県日田市へ行きました。一般のボランティア団体の方と一緒にバスで向かい、畑の泥かきや家の床下の泥かきを行いました。

実際に被災地へ行き、被害の状況を目の当たりにし、あまりの被害に驚き、言葉を失いました。今年度は東日本大震災の被災地に参加を予定しています。

### ★受賞★

第21回ボランティアスピリット賞 コミュニティ賞

より多くの方が笑顔になる活動を増やしていきます！



## 1人の小さなパワーを みんなで大きなパワーへ！

- \* 挨拶活動
- \* 障がい支援施設での交流活動
- \* 保育園での交流活動
- \* 募金活動
- \* 手話講習会
- \* 地域イベントの参加
- \* 被災地ボランティア

## 「ボランティア」とは… ～笑顔を増やしたい～

みなさんはボランティアとはどのような意味があるか、ご存じでしょうか。「無償で行う活動」「自発的に社会に貢献する行動」様々な表現がありますが、間違っただけではないのは「してあげる」という気持ちではないということ。

困っている人のためにやってあげようとしているその行動は、本当にその人のためなのでしょう？それを行ったところでその人の生活はよくなるのでしょうか？一時的なものではなく、先を見通し、自分自身に何ができるか考え行動していますか？

私たちはボランティアとは何なのか、私たちにできることはどのようなことかを考え、より多くの人を笑顔にしたいという気持ちをもって活動しています。



## 「初志貫徹」 ～地域から世界へ～

私たちは地域のつながりを大切にし、学校がある羽島市を中心に活動しています。特に、お祭りなどイベントのスタッフとして様々な依頼を受け、ボランティア活動をしています。

より多くの人を笑顔にしたいという気持ちから、昨年度より地元地域だけでなく、他県へ行きボランティア活動を行いました。

今後は地元地域の活動を大切にしつつ、視野を広げて世界中の人々が笑顔になるようなボランティア活動を行ってきたいと思います。

## 「Sクラブ」とは

Sクラブは平成5年度に「国際ソロプチミスト羽島」より認証を受け、25年間支援していただきながら活動しています。

Sクラブの「S」には「ソーシャル」「サービス」「スクール」の3つの意味があります。

学校や地域の様々な活動に、ボランティアとして積極的に活動している団体です。